

広島港港湾脱炭素化推進協議会（第1回）

1. 日時

令和6年2月7日（水）9：30～11：00

2. 場所

ワークピア広島

3. 出席者

別紙1のとおり

4. 議事概要

（1）広島港港湾脱炭素化推進協議会規約について

事務局より、広島港港湾脱炭素化推進協議会規約について説明。

（2）港湾脱炭素化推進計画について

事務局より、港湾脱炭素化推進計画（計画概要、計画対象範囲）について説明。

（3）今後の予定について

事務局より、計画策定までのスケジュール及びアンケート・ヒアリング調査について説明。

（4）情報提供

事務局より、CNP 認証制度案等について説明。

(5) 意見交換

構成員等より示された主な意見は以下のとおり。

- ・ 広島港のカーボンニュートラルの実現に向けては、臨海部に立地する企業の取組が重要であることが認識できた。臨海部にある事業者としてCO2削減の取組をしっかりと進めていきたい。
- ・ 小型旅客船の場合、一足飛びに水素やLNGを活用することは難しいため、段階的な取組を踏まえた議論が必要である。
- ・ 今後、クリーンエネルギーの車両、荷役機械への切り替えも必要であるが、各社の事情も勘案しながら対応する必要がある。
- ・ CO2の吸収源として、ブルーカーボンの活用も議論していく必要がある。
- ・ 今後、広島港周辺地域で内航船による水素・アンモニアの運搬が活発になる可能性がある。水素・アンモニアの運搬形態を踏まえ、ハード面の整備等についても検討していく必要がある。
- ・ CO2排出削減に資する取組は、地域の産業競争力の維持、強化という観点でも重要である。
- ・ 港湾の脱炭素化に向けては、官民連携して実効性のある計画を作成することが重要である。



協議会の開催状況

広島港港湾脱炭素化推進協議会 出席者名簿

(順不同)

役割	区分	企業名等	
構成員	有識者	国立大学法人広島大学	
	関係企業	マツダ株式会社	
		広島ガス株式会社	
		海田バイオマスパワー株式会社	
		MCMエネルギーサービス株式会社	
		三菱重工株式会社 広島製作所	
		カルビー株式会社 広島西工場	
		株式会社ひろしま港湾管理センター	
	関係団体	広島地区港運協会	
		広島県旅客船協会	
		公益社団法人広島県トラック協会	
	関係行政機関	国土交通省中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所	
		広島県土木建築局	
		広島市都市整備局	
		廿日市市建設部	
		坂町建設部	
		海田町建設部	
	オブザーバー	関係行政機関	経済産業省中国経済産業局
			国土交通省中国運輸局
			環境省中国四国地方環境事務所
広島県環境県民局			
広島県商工労働局			
広島市環境局			
広島市経済観光局			
廿日市市生活環境部			
経済団体		一般社団法人中国経済連合会	